

《Bicycle Glance Meeting》

自転車目線で水惑星地球の未来を考えよう！

I think about the future of the water planet earth in a bicycle glance !

Course Create+転遊研

工事中 ブームから文化へ！ Bike is Good!

サイクリングネットワーク・・・「サイクリング」とは、レースを含むスポーツサイクリング全般のこと！

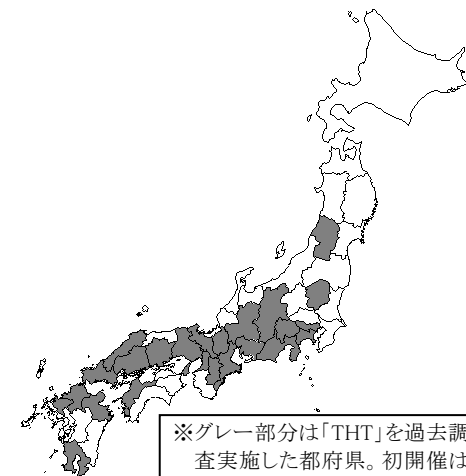
しかし日本では、レースは競技、サイクリングは自転車旅と別物のように語られ、ネットワーク機能を有していません。
そのため「繰り返される自転車ブーム」の遠因になっていると思われます。

春需でソフトを！・・・春需に合わせてユーザーに「自転車の乗り方や楽しみ方」を伝えること！

800万台とも言われる日本の自転車販売台数の大半が売れる「春需」に合わせてソフトを提供出来れば理想的です。
しかし、レース、ツーリング、スクールを充実させ、日本全国機会均等に行わないと効果がありません！

◆ 企画提案第一稿 ◆

- はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・①
- 日常利用とスポーツ利用・・・・・・・・・・・・②
- サイクリングネットワーク・・・・・・・・・・・・③
- 何故？6時間耐久なのか・・・・・・・・・・・・④
- 何故？3種のマップリーディングなのか.....⑤
- 何故？バイシクルグランスなのか.....⑥



※グレー部分は「THT」を過去調査実施した都府県。初開催は2002年山形県鶴岡市。



はじめに



レジャーブームを背景にした昭和30年代の第一次ブームでは、
旅行車(ランドナー)が主流で、JCAが生まれました。
オイルショック後の第二次ブームでは輪行車やカーサイクリングで行動範囲が拡がりました。

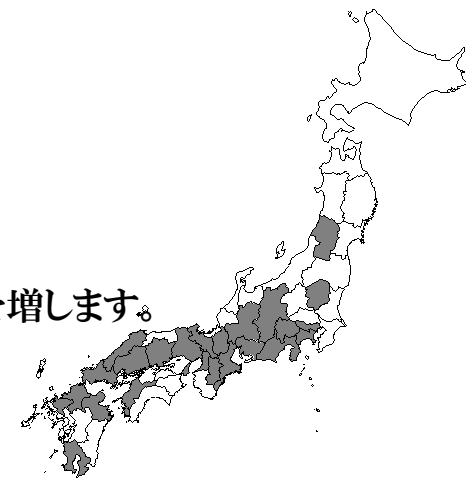
ここまでは、いわゆる「サイクリングブーム」で、地域や大学にサイクリングクラブが数多く生まれました。
特に第二次ブームはロードマン世代とも言われ、現在の回帰型シニアサイクリストの原点となっています。

1980年代に入ってから第三次ブームでは、トライアスロン由来のファニーバイクが登場し、
第四次ブームは記憶に新しい1990年代のマウンテンバイクブームで、
その背景にリゾート法絡みのアウトドアブームがありました。

そして京都議定書を契機に始まったとされる、第五次の平成エコ系自転車ブームでは、
小径車、クロスバイク、ロードレーサーと広く親しまれていますが、
通勤利用やイベント参加が話題の中心で、サイクリングブームと言うより「自転車のブーム」です。

繰り返される自転車ブームは、
車種というハードに依存した現象と分析でき、
自転車走行環境整備の必要性を訴える頃には収束し、
自転車文化の定着には至っていません！

目的はいたってシンプル。
自転車市民権と言う山に登ることです。しかし、中腹までは簡単でも、そこから厳しさを増します。
たかが自転車。されど自転車。自転車は自転車です。
これは、登頂ルートのひとつの提案です。





日常利用とスポーツ利用



自転車には日常利用とスポーツ利用の二面性があります。
さらに日常利用でもスポーツ利用でも、
十人百色の利用目的があり、
自転車多様性を掘り下げると言う登頂ルートもあります。

また「自転車のブーム」でない「サイクリングブーム」を目指す登頂ルートもありますが、
それには真の意味のロードレースの実施が条件になり、
目指す山も標高が高く、クレバスや絶壁が多数待ち受けています。

ハード依存の繰り返される自転車ブームとは言え、乗る場所を提供するイベントは必要です。
そして初心者はスキルアップし中級者・上級者となるため、当然イベント等も進化しなければなりません。
しかし、日本人はどうも苦手の分野のようです。

さらに自転車の走行環境整備となると、論外だったり、ブーム収束時間切れだったりします。

そのため、中上級者向けに「MTBラリーレイド」や「ブルベ」と言う欧米では認知のツーリングコンペティションを日本に紹介し、
さらに、走行環境整備には日常利用者の共感が必要と考え
そのための懸け橋となる「THT26◆自転車さんぽ」を提案しています。

Bike is Good !

自転車の良さや普遍性は誰もが認めるどころです。
日常利用とスポーツ利用の狭間に位置するポタリング版ツーリングコンペティション「THT26」は、
ブームから文化への「必要十分アイテム」と言えます！





サイクリングネットワーク



普通の道を普通に走るツーリングコンペティションは「旅」と「競技」の両面性を持ち、ソロツーリングとは異なる組織的に楽しむ自転車ソフトです。そのため「サイクリングネットワーク」の存在が大前提となります。

人と大地の間に自転車。

自転車は人の力を増幅するカラクリですが、エネルギー消費も加速するため、空気抵抗や水分補給など、他のジャンルに先駆けて課題としてきました。

つまり「自転車目線」とは、行動範囲の拡大で、水や空気や平和にも敏感になるということです。

その意味で増幅率の大きい最新スポーツ車には、より一層の走行マナーの向上が求められます。

しかし、十人百色の利用者に訴えるのは至難の業です。

それには「レース+ツーリング+スクール」という、バランスの取れた総合イベントを各地で実施するのはどうでしょう？

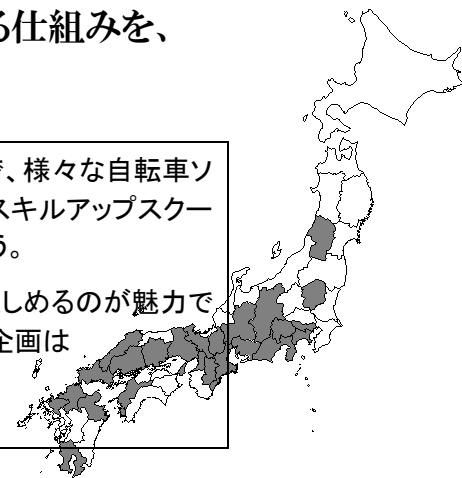
いきなりの完成形は無理なので、過去の経験から、

MTB6時間耐久レースと全車種対応3種のマップリーディングを組み合わせた「バイシクルグランズミーティング」を、ユーザー・ショップ・地域が三位一体となった、ヨーロッパ型サイクリングクラブが運営する仕組みを、徐々に全国に広げたいと思います。

ヨーロッパ型サイクリングクラブ・・・ ショップ・ユーザー・地域が三位一体となった、スクールからレーまで、様々な自転車ソフトを守備範囲とするサイクリングクラブ。スポーツサイクリングでは、子供の成長に合わせたサイズを揃えて年代別スキルアップスクールを行い、日常利用では、ルール・マナーの啓蒙活動や初心者対象サイクリングや自転車走行環境メンテナンスも行う。

奥座敷型と地産地消型・・・ 自転車は自由な移動の道具です。そのため、市街地や郊外を問わず自由に楽しめるのが魅力です。もちろん個人でも楽しめますが、走行環境や街道風景は積極的にメンテナンスする必要があります。サイクリング企画は車種と目的を掛け合わせると無限ですが、地元を楽しむか遠征先を楽しむかに大別できます。

つまり、ヨーロッパ型サイクリングクラブ同士の交流が、自転車文化そのものと考えます。





何故？6時間耐久なのか・・・



交通環境を地域と共に自転車目線で考えるイベントが、
MTB6時間耐久レースではありません。
より多くの場所で開催が可能で、しかもサイクリングクラブが主管できる内容だからです。
駅伝的なチーム対抗は、専用計測システム導入で、
日本発世界基準の感動ゲームにも成り得ます。

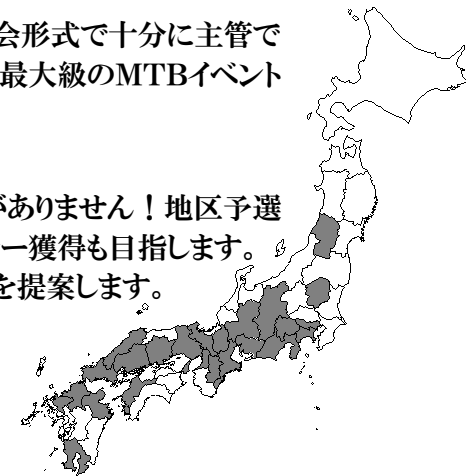
但し、自転車ファンが交流し、その楽しさをより多くの人に伝える部分は、補完企画に任せます！

補完企画・・・ スポーツサイクリングにはライセンスがあった方が良いと思います。レース参加の資格登録もそうですが、サイクルツーリストや運営スタッフにも必要と考えます。もし具体化するなら一国一窓口にする必要があり、それには、レース会場でツーリングメニューも行うことが必要条件です。

感動ゲーム・・・ MTB耐久レースは、都内某ショップ店長が1988年に始めた草レースで、その後、自転車雑誌の特集企画で模擬レースが紹介され、スキー場のグリーンシーズン利用やメーカーの全国展開もあって一気に拡がりました。しかしチームリレー形式の耐久レースは誰もが楽しめる反面、レース展開が分かり辛いという欠点があり、そこを改善すればチャンピオンスポーツに大化けすると考えます。

主管できる内容・・・ スキー場のグリーンシーズン利用もそうですが、河原や公園でもコースを切れて、実行委員会形式で十分に主管できます。既に日本各地で開催実績があるため、当企画の趣旨を理解した協力者を募ることは可能です。また、日本最大級のMTBイベントとなっている「シマノバイカーズフェスティバル」も「レース+ツーリング」の組み合わせです。

MTB6時間耐久レース・・・ そして欠点を改善し、自転車競技連盟公認のトーナメント大会にしなければ意味がありません！地区予選は準公認としても、ブロック大会や全国大会は、公正性の保てる計測システムやレギュレーションを導入し、スポンサー獲得も目指します。そのアイデアのひとつとして、予選ステージ4時間+決勝ステージ2時間の6時間耐久レース(仮称・オンザシックス)を提案します。





何故？3種のマップリーディングなのか……



では補完企画のツーリングメニューとはどんな内容が良いのでしょうか？
それは、自転車目線で他者との交通環境をバランス良く考えることができる、
走り出したら自己責任が前提の、
ツーリングコンペティションだと思います。

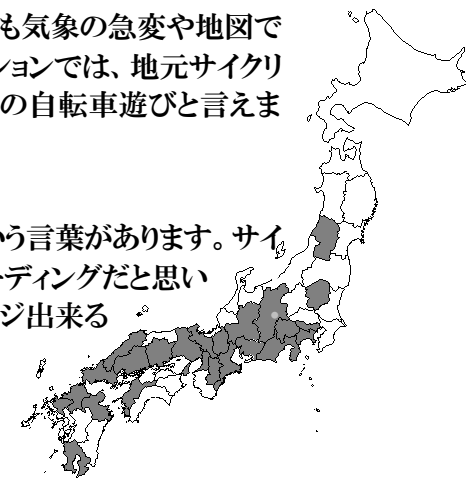
そして、街道(スポーツ車)、山道(MTB)、町の中(一般車)を網羅することが重要です！

ツーリングメニュー…… ツーリングは、計画～実走～記録と3度楽しめます。ソロ、グループ、イベントと形を変えても、この三要素は変わりません。そのため、コミュニケーションツールとしても秀逸で、販促イベント、趣味のイベント、デモ的イベントにも分類出来ます。そして、人材の交流や育成を目的とするなら等身大運営が可能な、趣味のイベントの規模が最適と考えます。

交通環境(一般道の適正利用)…… 販促イベントやデモ的イベントでは交通規制を伴う運営も可能ですが、趣味のイベントではマスタートは厳禁です。歩行者をリスペクトし、自動車からはリスペクトされる。そんな普通の道を普通に走る規模や内容が大前提で、それが相互信頼を生みます。道路の目的外使用を伴うマスタートの対案として考えた、蜘蛛の子を散らすタイプのスタート方法は、マップリーディングだからこそ具体化が可能です。

走り出したら自己責任(時には参加者、時にはスタッフ)…… ソロツーリングでは、綿密な計画を立てても気象の急変や地図では判断できない通行不能箇所があって、残念な結果になることも……。地図読みを前提にしたツーリングコンペティションでは、地元サイクリストが調査した厳選ルートを、ブリーフィング情報を元に辿ります。そして、走り出したら自己責任であり、正に大人の自転車遊びと言えます。また「時には参加者、時にはスタッフ」として、あなたもツーリングの先達を務めませんか？

街道(スポーツ車)、山道(MTB)、町の中(一般車)…… マスタートリズムやサスティナブルツーリズムという言葉があります。サイクルツーリングは持続可能な観光旅行と言う意味の「サスティナブルツーリズム」に属し、その最たるものがマップリーディングだと思います。街道・山道・町の中。道の数だけ車種があり、楽しみ方は十人百色。半日イベントという制約で、全てにアレンジ出来るのはマップリーディングだけです。





何故？バイシクルグランスなのか……



中級者・上級者向けのイベントを提案する中で、日常利用との接点の必要性を感じ、シマノバイカーズやサイクルエイドジャパンに係ることで、「自転車走行環境整備」や「自転車ソフトの標準化」という言葉に出会いました。これらの課題クリアには「春需でソフトを！」を取りまとめられる“レベル”のネットワークが基準になります。

	【シマノバイカーズフェスティバル】	【バイシクルグランズミーティング】	【ヨーロッパ型サイクリングクラブの実証実験】
2015年	※耐久レース地区代表参加費無料招待 #25●7月25-26日	《企画調整2016/ミニマムの呼び掛け》 《企画調整2017~2018/ブロックへの呼び掛け》	立川(立川競輪場) / 甲信(境川競技場) 奈良(奈良競輪場) / 山口(防府競輪場)
2016年	※地区予選として実施(4時間耐久) #26●7月00-00日 ★8月のブロック大会で翌年の概要を発表!	★1月に2016年の概要発表!(3月にセレモニー) 3月~7月に地区大会(会場数任意) 8月にブロック大会(東日本/中日本/西日本) 9月に決勝大会(関東周辺)	立川プラン...たちかわ創造舎のサイクルステーションを活用して、当企画全体の事務局の設置を検討!(サイクリストライセンス、スタッフスクール)
2017年	※ブロック大会として実施(6時間耐久) #27●7月00-00日	16秋~17初夏に地区大会(会場数任意) 7月~8月にブロック大会(5~8会場) 10月に決勝大会(関東周辺) ★7月~8月のブロック大会で翌年の概要を発表!	甲信プラン...諏訪、富士見、甲府、富士五湖を中心に奥座敷型のサイクリングフィールドを整備する。(MTBリバティフィールド、信州ブルベ)
2018年	※ブロック大会として実施(6時間耐久) #28●7月00-00日	17秋~18初夏に地区大会(会場数任意) 7月~8月にブロック大会(8会場) 10月に決勝大会(関西周辺) 《企画調整2019~2020/全国への呼び掛け》	奈良プラン...奈良県は既にサイクリング環境整備を進めており、さらに連携を深めて、関西圏の拠点とする。(関西ディアゴナール)
2019年	※2年跨ぎ企画...地区予選として実施 #29●7月00-00日	★1月に2019~2020年の概要を発表! 19春~20冬に地区大会(47都道府県)	山口プラン...維新150周年企画を契機に地産地消型組織を立ち上げ、隣県と連動したモデルケースを实践。(THT26◆毛利チャレンジトーナメント)
2020年	※2年跨ぎ企画の決勝大会として実施 #30●7月00-00日	20年初夏にブロック大会(8会場) 7月のSBFで決勝大会	2020年までに完成形を目指すのでは無く、次世代への繋ぎ役として、三位一体型サイクリングクラブの可能性を探る!

シマノバイカーズ型総合イベントのノウハウをJCA・JCF・SBAAで共有し、メーカー冠イベントに還元。そして、E型サイクリングクラブの趣旨に賛同する仲間を探し、サイクリングネットワークのベースを作る！その趣旨説明のための草の根活動的現場ミーティングなので、草が育つ地球を意識したネーミングを考えました。

